Hatsuyuki

夏のサンタ

ブロックアイススライサー

取扱説明書

ブロックアイススライサー

型式 / **HA-10LA**

- このたびは、初雪ブロックアイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

もくじ

■安全上のご注意 …… 1

■各部のなまえとその働き … 3

■付属品・注意ラベルの貼付位置 … 4

■設置と運転前の確認 …… 5

■ご使用方法 …… 6

- ●ブロックアイスの作り方について …… 6
- ●運転の手順 …… 7
- ●円盤上の氷の取り出し方法について …… 9
- ●強弱調節ネジについて …… 9

■刃物の交換のしかた …… 10

- ●刃物の取り外し・取り付け方 …… 10

■お手入れ …… 11

- ●毎日のお手入れ …… 11
- ●汚れが目立つときのお手入れ …… 12
- ●1ヶ月に1～2回のお手入れ …… 12

■保管方法 …… 12

■譲渡・廃棄 …… 13

■故障の見分け方と処置方法 … 13

■仕様 …… 14

保証書・アフターサービスについて…巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

お客様用

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

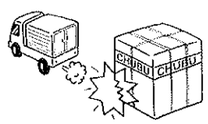
図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

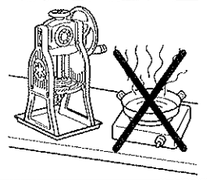
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、ケガの原因となります。



損傷確認

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

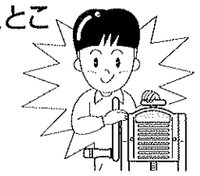
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

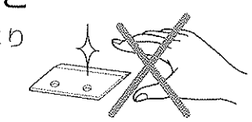
ケガの原因になります。



禁　止

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

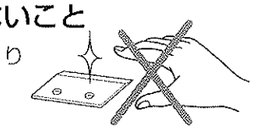
ケガの原因になります。



禁　止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

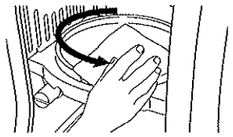
ケガの原因になります。



禁　止

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

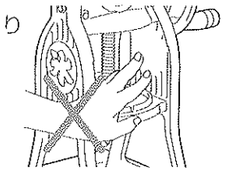


掃除注意

⚠ 警告

運転中に切削室の中に手を入れないこと

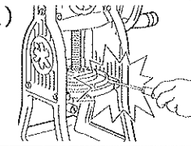
ケガの原因になります。



禁　止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと、また改造も絶対行わないこと
（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、不備があると故障の原因になります。

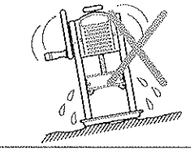


分解・改造禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように、また水滴が落ちてもよいところに据え付けること

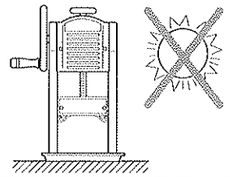
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になり、また結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。



水平・設置場所

直射日光の当るところで使用しないこと

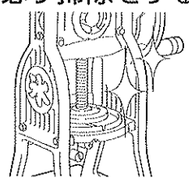
プラスチックが割れたりして危険です。



禁　止

切削室は使用前に必ず掃除をすること

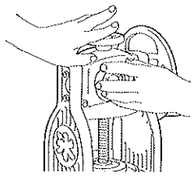
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃　除

運転中は、回転部（主軸・上下ハンドル・氷押え・氷）に手を触れないこと

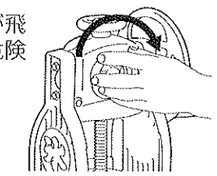
ケガの原因になります。



禁　止

氷のセットは確実にすること

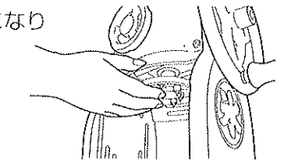
不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。



確　認

氷押えのクギに手を触れないこと

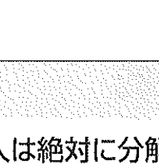
ケガの原因になります。



禁　止

強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放しても氷押えが下がらないよう調節すること

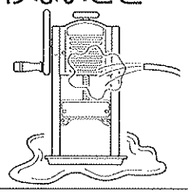
ケガの原因になります。



調　節

製品に直接水をかけないこと

錆、故障の原因になります。



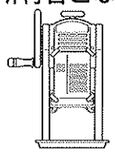
水掛け禁止

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

各部のなまえとその働き

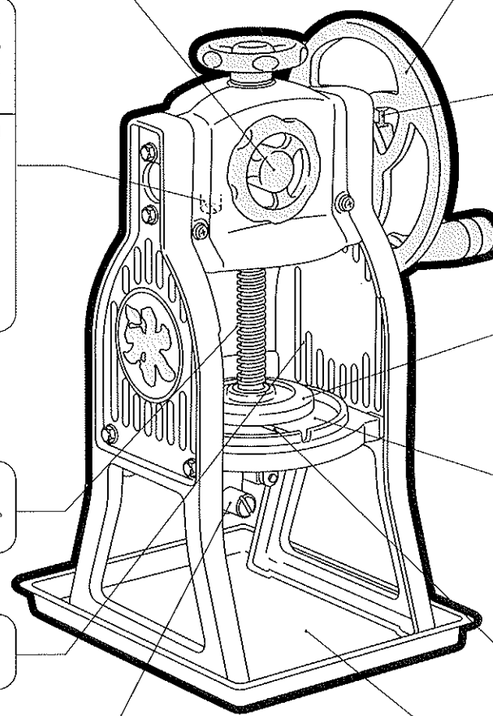
■使用目的

●本製品は専用の製氷カップ（付属品）で凍らせたブロックアイスからスライス氷（かき氷）を作るための機械です。

専用の製氷カップ（付属品）で凍らせたブロックアイス以外のものは使用しないでください。

※ブロックアイスとは…専用の製氷カップで凍らせた直径約12cm、高さ約10cmの氷です。

■本体



上下ハンドル
主軸（氷押え）を上下させるのに使用します。

強弱調節ネジ
氷を押える力の調節に使用します。切削室の左上部にあります。

主軸
氷を押える力を伝達します。下には氷押えが付きます。

切削室
氷をスライスする部屋です。

刃物調節ダイヤル
これを回してスライスの粗さを調節します。

氷削ハンドル（付属品）
これを回すと主軸（氷押え）も回転します。氷削に使用します。

氷削ハンドル取付ネジ（付属品）
氷削ハンドルが外れないように固定します。

氷押え
下にはクギがあり、氷を固定します。

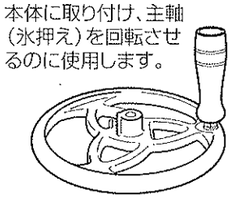
円盤
氷をスライスするときに氷をのせる盤。裏側に刃物が付いています。

刃物
氷をスライスします。

バット（付属品）
円盤上の氷が溶けた水などを受けます。

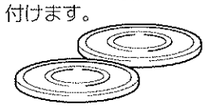
■付属品

氷削ハンドル（1個）
本体に取り付け、主軸（氷押え）を回転させるのに使用します。

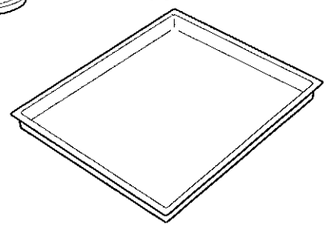


氷削ハンドル取付ネジ（1個）
氷削ハンドルを本体に取り付けるために使用します。
（ご購入時には氷削ハンドルに付いています。）

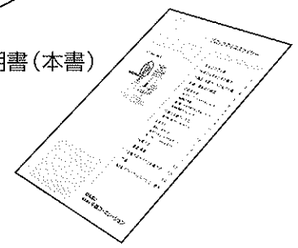
フタ（2個）
製氷カップに取り付けます。



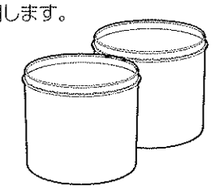
バット（1個）
本体の下に敷き、円盤上の氷が溶けた水などを受けます。



取扱説明書（本書）



製氷カップ（2個）
ブロックアイスを製氷するために使用します。

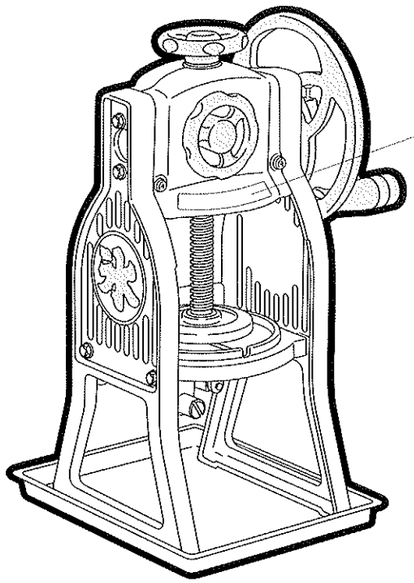


■注意ラベルの貼付位置

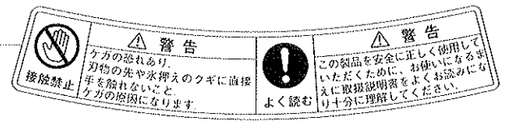
お願い

●ラベルを剥がさないでください。

●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。



品名：PLラベルY 731



■設置

⚠ 警告

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

ケガの原因になります。

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように、また水滴が落ちてもよいところに据え付けること

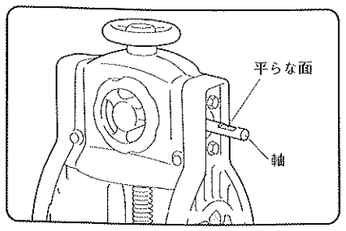
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になり、また結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。

直射日光の当るところで使用しないこと

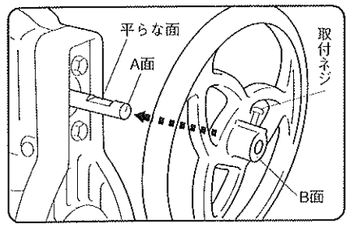
プラスチックが割れたりして危険です。

■運転前の確認

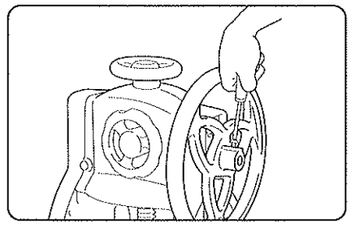
●付属の氷削ハンドルを次の要領で製品に取り付けてください。



1 操作側から見て右側に軸が出ています。軸に平らな面がありますので、確認してください。



2 軸の平らな面と氷削ハンドルのネジ位置が合うように氷削ハンドルを差し込んでください。この時A面とB面が合うようにしてください。



3 付属の取付ネジを⊕ドライバーで締め付け、氷削ハンドルを回して主軸が回転することを確認してください。

●付属のバットを本体の下に敷いてください。

●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内（円盤）に入っている恐れがありますので、切削室内（円盤）の掃除をしてください。また製氷カップとフタも掃除してください。（P.11　毎日のお手入れ参照）

■その他

●地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

⚠ 警告

運転中に切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

⚠ 注意

氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。

運転中は、回転部（主軸・上下ハンドル・氷押え・氷）に手を触れないこと

ケガの原因になります。

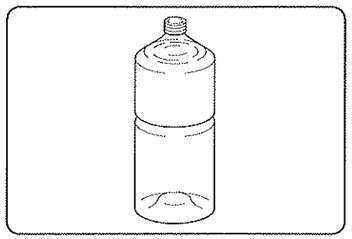
切削の最後、薄くなった氷の割れに注意すること

約10ミリの厚さになると氷が割れ、飛散する場合があり、ケガの原因になります。

お願い

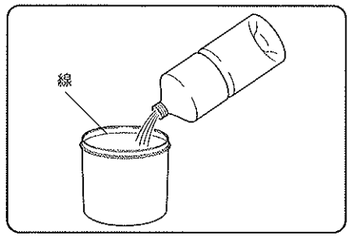
（1）霜がつくほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適当です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。
（2）製品の上に物を載せないでください。
（3）付属の製氷カップとフタは耐熱・耐冷温度が40℃～−30℃です。この範囲でお使いください。また、40℃以上のお湯は入れないでください。
（4）付属の製氷カップには飲料水以外のものは入れないでください。

■ブロックアイスの作り方について



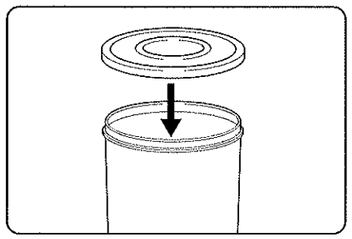
1 飲料水を用意する。

●飲料用の水を用意します。



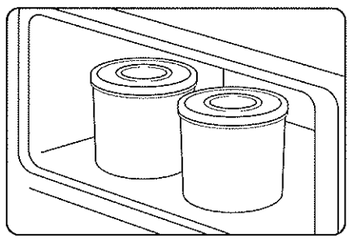
2 製氷カップに飲料水を入れる。

●製氷カップの内側にある線まで飲料水を入れてください。（容量約1000cc）この線を越えると、できあがりのブロックアイスが大きくなりすぎて本体にセットできなくなる場合があります。



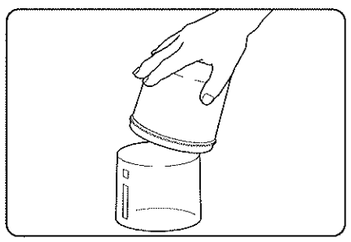
3 フタをする。

●製氷カップにフタを取り付けます。



4 製氷する。（冷凍）

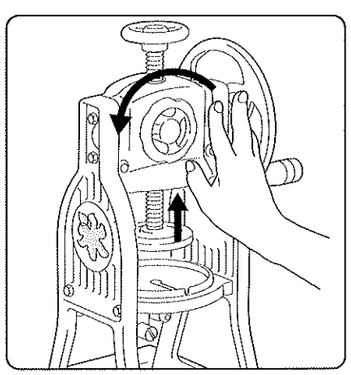
●冷凍庫の平らな場所に入れてください。斜めの場所に入れるとできあがりのブロックアイスが異形になり本体にセットできなくなる場合があります。
（冷凍時間の目安…－20℃の冷凍温度にて約13時間）



5 ブロックアイスを取り出す。

●冷凍庫より製氷カップとフタを取り出します。
●フタを開け、製氷カップからブロックアイスを取り出します。取り出しにくい時は、フタを付けた状態で水道水を全体にかけてください。
●ブロックアイスをゆるめてください。[P.6お願い（1）参照]

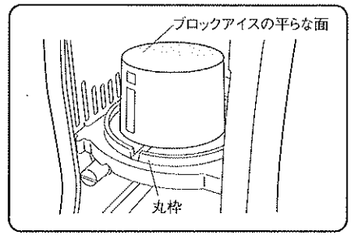
■運転の手順



1 ブロックアイスをセットする。

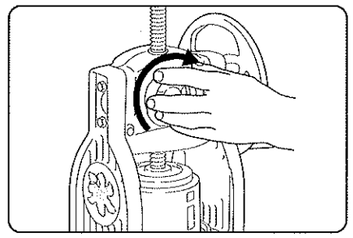
●上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。
●上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。

※落ちるとケガをすることがあります。
落ちるときは強弱ネジを調節して落ちないようにしてください。（P.9強弱調節ネジについて 参照）

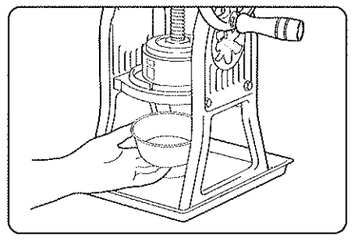


1

●ブロックアイスの平らな面が上側（氷押え側）になるようにして円盤の中心にブロックアイスをのせます。この時、丸枠よりはみ出ないようにしてください。（氷が削れなかったり、斜めに削れて氷が飛び出したりすることがあります。）
●氷から手を離します。

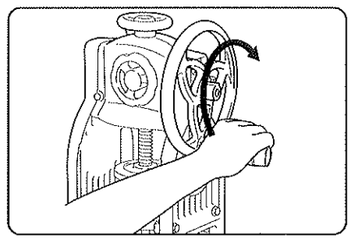


●上下ハンドルを時計方向にまわし、ブロックアイスに氷押えのクギを食い込ませて確実に固定します。
※不十分ですとブロックアイスが飛び出ることがあります。



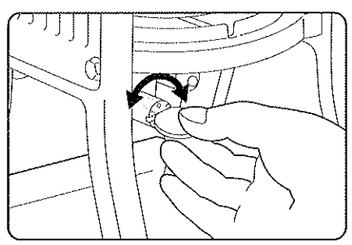
2 カップを受ける。

●円盤の下にカップなどの容器で受けてください。



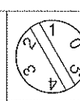
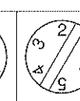
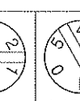
3 氷削ハンドルをまわす。（氷削開始）

●氷削ハンドルを手前から向こう側に回転させます。



4 氷削粗さの調節をする。

●刃物調節ダイヤルの溝にコインなどを入れてまわし、お好みの粗さにします。（左右どちらにもまわります。）
●刃物調節ダイヤルの数字は一番上にセットした数字が粗さの設定になります。
●粗さの目安は1（細かい）～5（粗い）となります。0は円盤上面から刃先が出ません。（氷は削れません。掃除の時などに使います。）

数字						
	0	1	2	3	4	5
粗さ	刃の出 0	細かい ←				→ 粗い

5 氷削ハンドルを止める（氷削停止）

■円盤上の氷の取り出し方法について

⚠ 警告

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

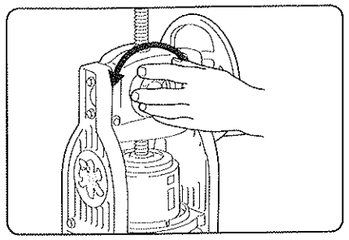
禁　止

⚠ 注意

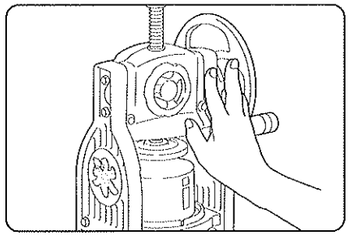
氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。

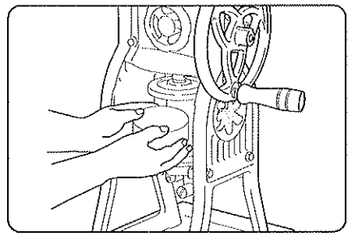
禁　止



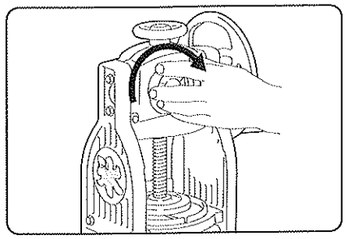
1 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。



2 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。



3 円盤から氷を取り出します。



4 氷押えは、上下ハンドルを時計方向に回して下げておいてください。

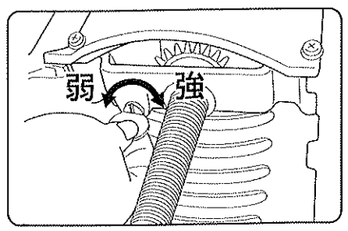
■強弱調節ネジについて

⚠ 注意

強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないよう調節すること

ケガの原因になります。

調　節



氷を押える力の調節に使います。

- 調節には⊖ドライバー、またはコインを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
  上下ハンドルから手をはなしても下へ下がらず、
  上げる時に重くない程度が最適です。

刃物の交換のしかた

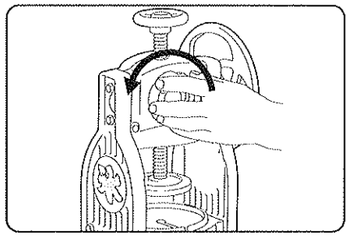
⚠ 警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

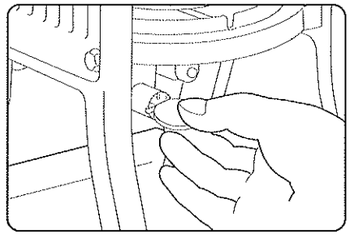
ケガの原因になります。

禁　止

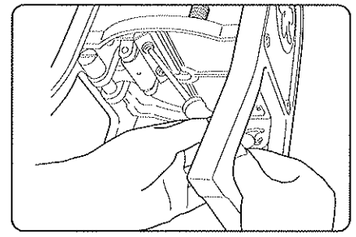
■刃物の取り外し・取り付け方



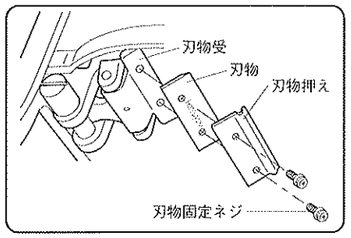
1 上下ハンドルを反時計方向に回して、氷押えを上げてください。この時、氷押えが落ちないことを確認してください。



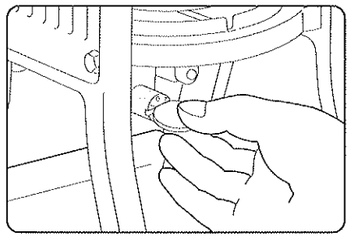
2 刃物調節ダイヤルの数字を0が一番上にくるようにセットしてください。
(P. 8 -4参照)



3 刃物固定ネジ(2本)を⊕ドライバーでゆるめて、刃物と刃物押えを取ってください。



4 新しい刃物の「Hatsuyuki」が記入されている面と刃物押えのふくらみ側を下にして刃物固定ネジで刃物受に固定してください。



5 刃物調節ダイヤルを回して、お好みの粗さに調節してください。
(P. 8 -4参照)

お手入れ

⚠ 警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

⚠ 注意

製品に直接水をかけないこと

錆、故障の原因になります。

切削室は使用前に必ず掃除をすること

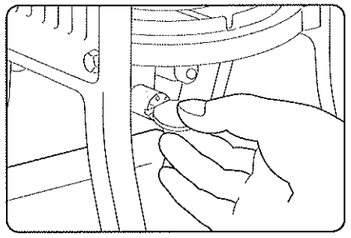
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

お願い

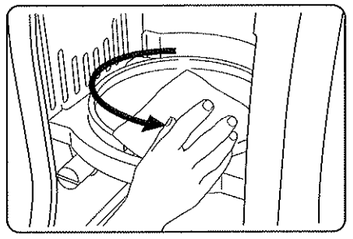
- ●40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- ●プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。
- ●円盤は、硬いものでこすらないでください。

■毎日のお手入れ

●切削室内（円盤）

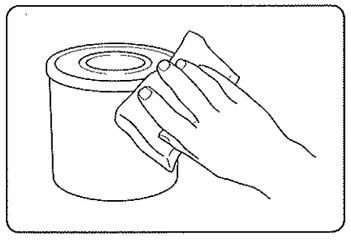


1 刃物調節ダイヤルの数字を0が一番上にくるようにセットし、円盤上面より刃物を下げてください。下がっていないとケガをすることがあります。（P. 8 -4参照）



2 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げてください。ぬるま湯を含ませた布巾で円盤上を反時計方向に拭いてください。時計方向には絶対に拭かないでください。ケガをすることがあります。

●製氷カップ・フタ



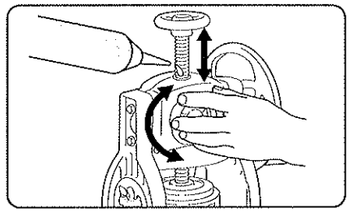
1 ぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水で流してください。

■汚れの目立つときのお手入れ（製品外面）

- ●乾いた軟らかい布で拭いてください。
- ●落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

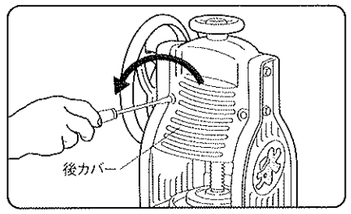
■1ヶ月に1～2回のお手入れ

●主軸の給油　●一般的な機械油をご使用ください。

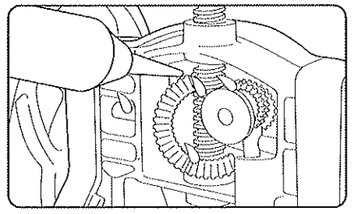


1 上下ハンドルを回転させて主軸を上下させながら、主軸に給油してください。

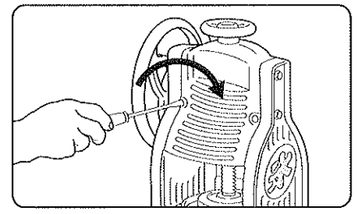
●内部の給油　●一般的な機械油をご使用ください。



1 後カバーを取り付けているネジを⊕ドライバーで取り外してください。



2 上下ハンドルを回しながら、上記の箇所（アミカケ部）に給油してください。



3 後カバーをネジで取り付けてください。

保管方法

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると故障の原因になります。

分解禁止

お願い ●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現　象	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
製品は動くが氷が削れない	●刃物が切れなくなっていませんか？	●刃物を交換してください。(P.10 参照)
	●刃先が円盤上面より出ていますか？	●刃物調節ダイヤルを回し数字を1～5にセットして刃物を出してください。(P.8-4 参照)
	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。(P.9 強弱調節ネジについて 参照)
切削中に氷押えから氷がはずれる	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。(P.9 強弱調節ネジについて 参照)
	●氷押えのクギが氷に食い込んでいますか？	●氷押えのクギを氷に確実に食い込ませてください。(P.7～8-1 参照)

仕様

型　式	氷削能力 (kg/min)	円盤有効径 (mm)	外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	質　量 (kg)	付属品
HA-10LA	0.2～0.9	φ126	213×200×425 (本柄・バット含まず)	9.5 (バット含まず)	●氷削ハンドル…1 ●取付ネジ…1 ●バット…1 ●製氷カップ・フタ…各2 ●取扱説明書…1

※氷削能力は刃物調節ダイヤル1～5にて氷削ハンドルを1分間に100回転させて測定しております。